荏隈校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

荏隈校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市において、平成３１年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第４期大分市地域福祉計画・第５次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ荏隈校区においては、住みなれた地域でお互いが支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりを目指し、自治会や民生委員児童委員、老人クラブ、青少協、ボランティア、交通安全協会等の持つ機能を組み合わせ、地域住民と協力して小地域福祉ネットワーク活動等の地域福祉活動を進めてきました。

一方、国においては、「我が事・丸ごと」の地域共生社会実現に向けた地域福祉の推進の概念が提唱されるなど、社会福祉を取り巻く環境は大きく変動しています。

こうした状況に対応していくためには、専門職の対応のみならず、地域社会でのつながりが重要であり、地域住民同士の支え合い、助け合う関係を強めていくことが期待されています。

そこで、今回、荏隈校区では、今後、荏隈校区が目指す姿について話し合い、求められる地域福祉活動を更に充実させていくことを目的に、「荏隈校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

この計画が、荏隈校区の福祉活動の発展につながることを祈念するとともに、計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者並びにご意見をお寄せいただきました皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

荏隈校区社会福祉協議会
会長　　篠田　米蔵

目次

第１章　はじめに 1

（1）計画策定の背景 1
（2）大分市社会福祉協議会とは 1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは 1

第2章　荏隈校区について 2

（1）荏隈校区の概要 2
（2）校（地）区社会福祉協議会について 2
（3）人口推移 2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状 3
（5）高齢者サロンについて 5
（6）老人クラブについて 6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査 7

基本目標1：「地域のつながりをつくる」に関する設問 8
基本目標2：「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問 10
基本目標3：「困りごとを深刻化させない」に関する設問 12
基本目標4：「安心・安全をつくる」に関する設問 15

第4章　荏隈校区の活動計画と策定までのプロセス 16

（1）目標と具体的取り組み 16
（2）計画策定メンバー 19
（3）実施経過 19

第5章　資料編 20

（1）他の活動紹介 20
（2）実態調査票 25
（3）実態調査集計結果 28

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

荏隈校区は、大分市中心部の南西側に位置する地域であり、北側を大分川支流の尼ヶ瀬川が流れています。その北側を久大本線が走り、中央部を県道 207 号大分挾間線（医大バイパス）が通っています。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「荏隈校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・荏隈校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という 2 つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　荏隈校区について

（1）荏隈校区の概要

◇荏隈校区は、大分市中心部の南西に位置し、久大本線や、県道 207 号大分挾間線（医大バイパス）が通っています。

北側には大分川支流、尼ヶ瀬川が流れています。

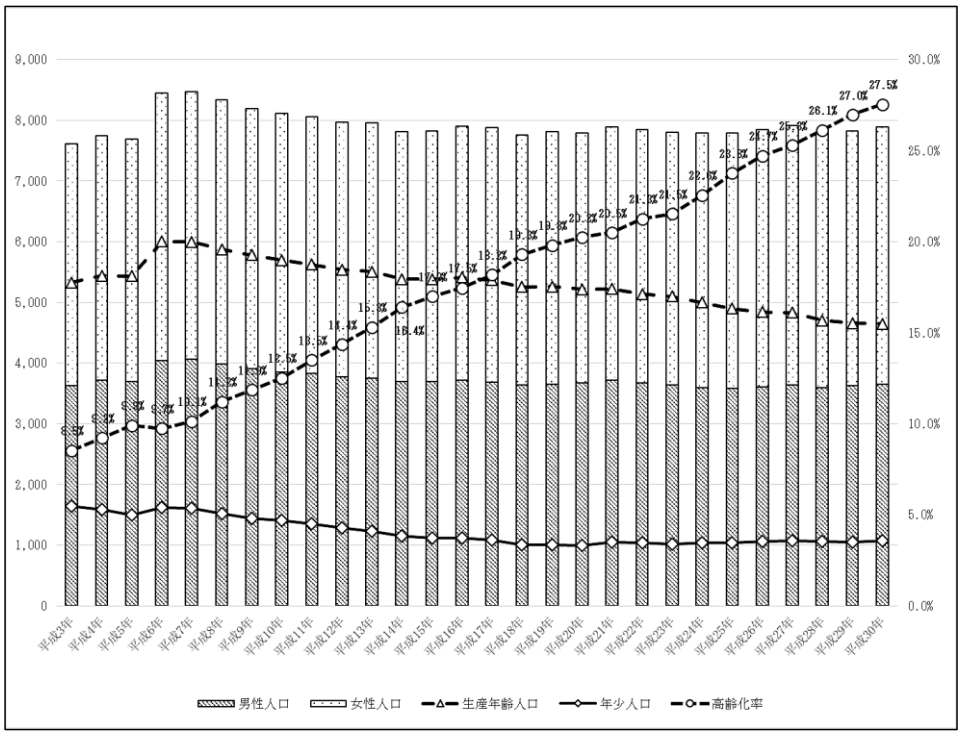
◇6 の自治区と 13 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇昭和 62 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　283 人

②ふれあい協力者　　296 人

③協力者のいない対象者　　54 人

④緊急連絡先のない対象者　9 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　　0 人

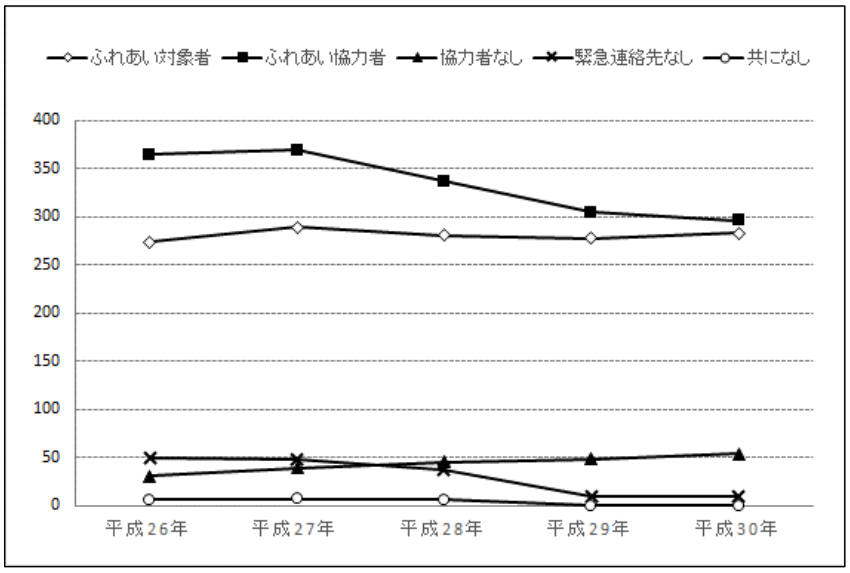
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	深河内	24	22	2	0	0	1	深河内	24	22	2	0	0
2	大石町	80	85	20	8	0	2	大石町1丁目	29	21	8	3	0
							3	大石町（2～3丁目）	19	26	5	1	0
							4	大石町（4丁目、5丁目1、2組）	18	28	1	1	0
							5	大石町（5丁目3組-1～9組）	13	9	6	2	0
3	荏隈町	95	96	12	0	0	6	荏隈町（1～2丁目）	20	27	3	0	0
							7	荏隈町（3～4丁目）	37	30	5	0	0
							8	荏隈町（5～7丁目）	38	41	4	0	0
4	中の瀬団地	48	50	14	0	0	9	中の瀬団地H8、H10	23	27	7	0	0
							10	中の瀬団地H13	25	24	7	0	0
5	賀来新川	26	35	1	1	0	11	賀来新川	11	17	1	1	0
							12	賀来北1丁目	16	19	0	1	0
6	ツインプラザ大分	10	9	5	0	0	13	ツインプラザ	10	9	5	0	0

荏隈地区のふれあい対象者推移

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

荏隈校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	274	289	281	278	283
ふれあい協力者	365	369	337	305	296
協力者なし	31	39	45	48	54
緊急連絡先なし	50	48	37	9	9
共になし	6	7	6	0	0



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

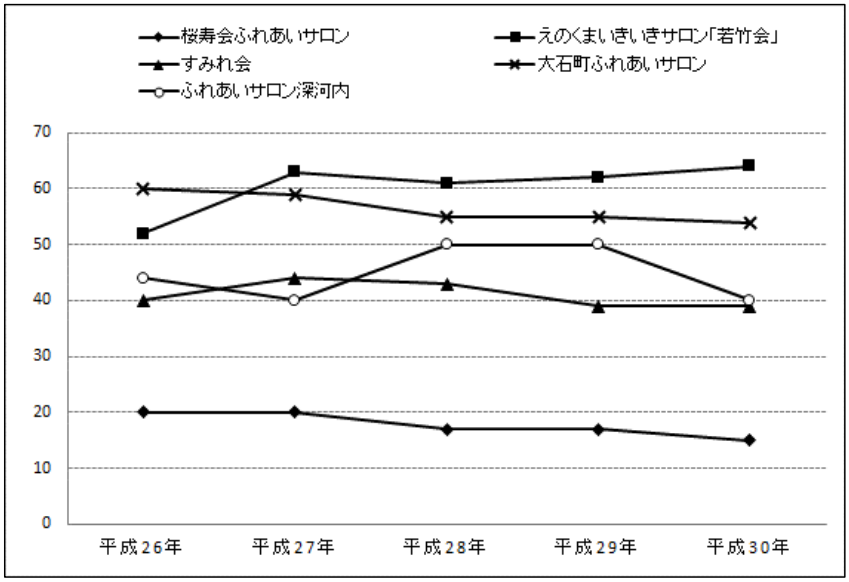
荏隈校区内にある高齢者サロンは５ヶ所です。

（平成 30 年４月１日現在）

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
桜寿会ふれあいサロン	中の瀬団地H8集会室	24	15	H13.2.4
えのくまいきいきサロン「若竹会」	荏隈公民館	12	64	H13.8.10
すみれ会	賀来新川公民館	12	39	H14.1.18
大石町ふれあいサロン	大石町自治公民館	12	54	H20.5.21
ふれあいサロン深河内	深河内公民館	6	40	H22.3.19

荏隈校区での高齢者サロン参加登録者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
桜寿会ふれあいサロン	20	20	17	17	15
えのくまいきいきサロン「若竹会」	52	63	61	62	64
すみれ会	40	44	43	39	39
大石町ふれあいサロン	60	59	55	55	54
ふれあいサロン深河内	44	40	50	50	40



(6)老人クラブについて

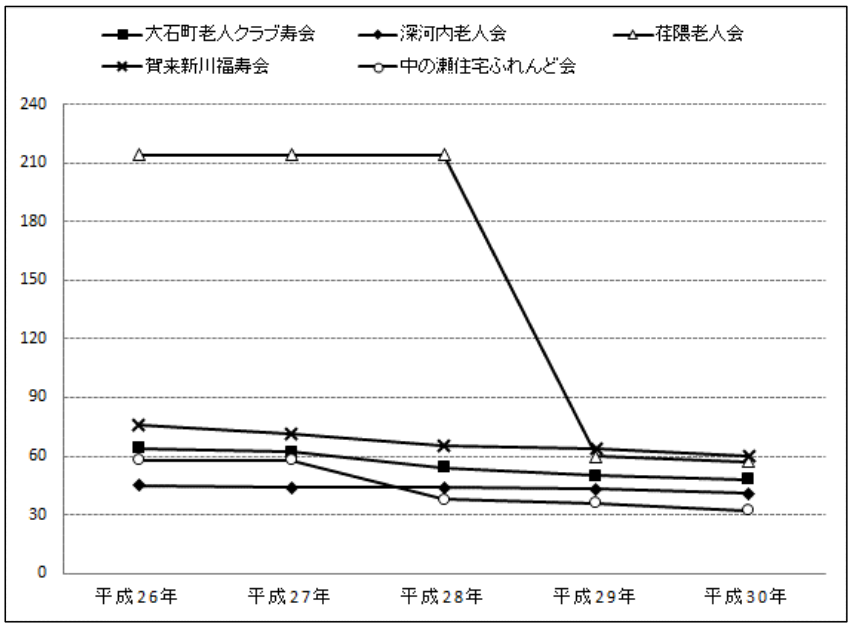
荏隈校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 5 ヶ所あります。

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	大石町老人クラブ寿会	大石町	64	62	54	50	48
2	深河内老人会	深河内	45	44	44	43	41
3	荏隈老人会	荏隈町	214	214	214	60	57
4	賀来新川福寿会	賀来新川	76	71	65	64	60
5	中の瀬住宅ふれんど会	中の瀬団地	58	58	38	36	32

※荏隈老人会（荏隈町）の H26～H28 の数字は、会員数の人数です。



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、荏隈校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 30 年 7 月中旬～平成 30 年 8 月末
対　象	荏隈校区内のふれあい対象者　266 名 （平成 30 年 7 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	254 名
回答率	95%
調査協力者	荏隈校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

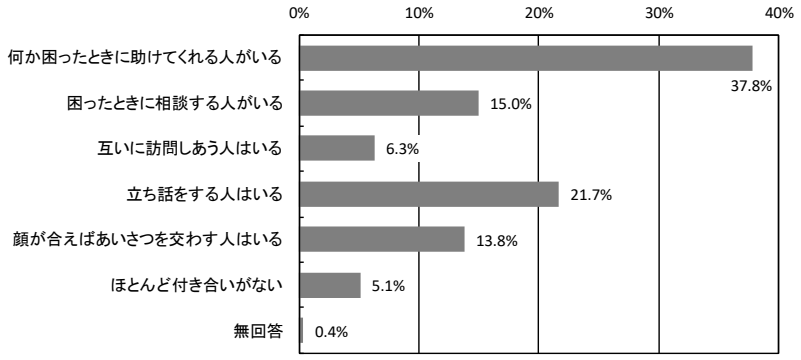
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

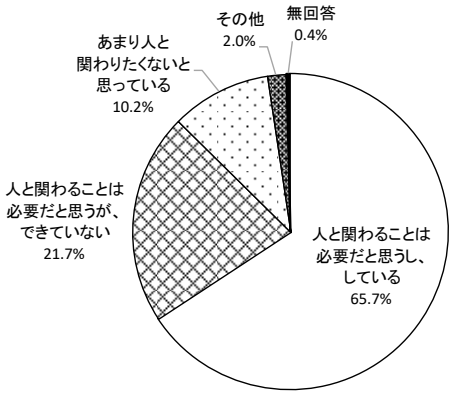
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 37.8%と最も高く、次いで、「立ち話をする人はいる」が 21.7%、「困ったときに相談する人がいる」が 15.0%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 5.1%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 65.7%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 21.7%となっている。

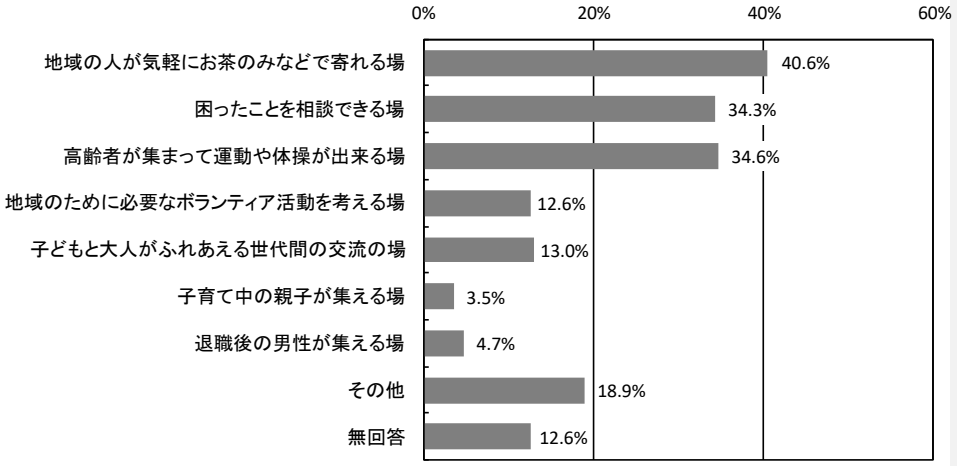
なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 10.2%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

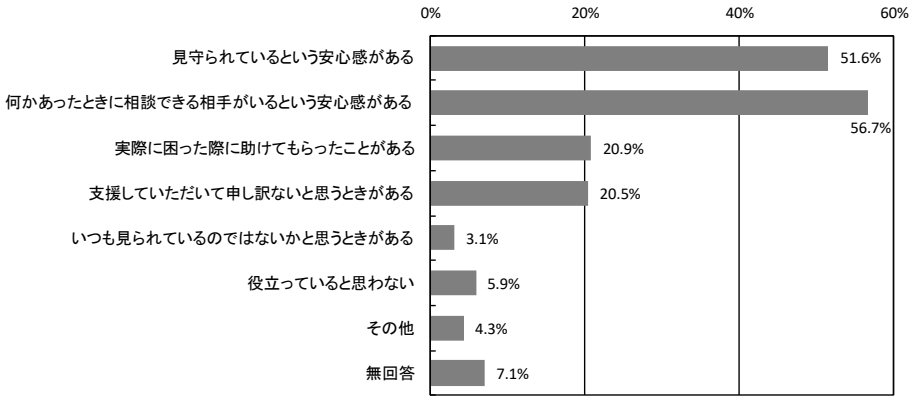
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 40.6%で最も高くなっている。また、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 34.6%、「困ったことを相談できる場」が 34.3%、「子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場」が 13.0%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

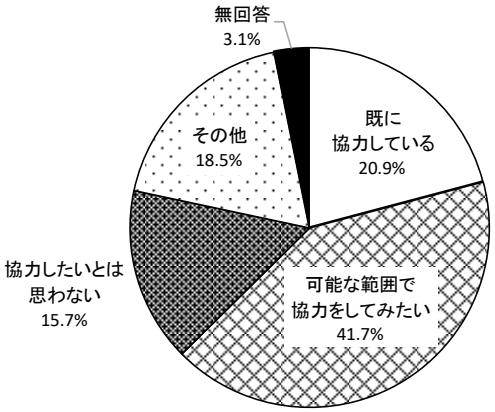
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 56.7%で最も高く、次いで「見守られているという安心感がある」が 51.6%となっている。



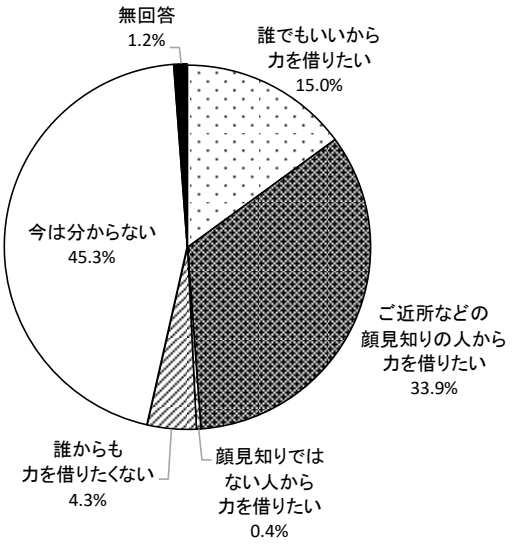
地域の行事や活動に協力しみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 20.9%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 41.7%、「協力したいとは思わない」が 15.7%、「その他」が 18.5%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の方が多い傾向にある。



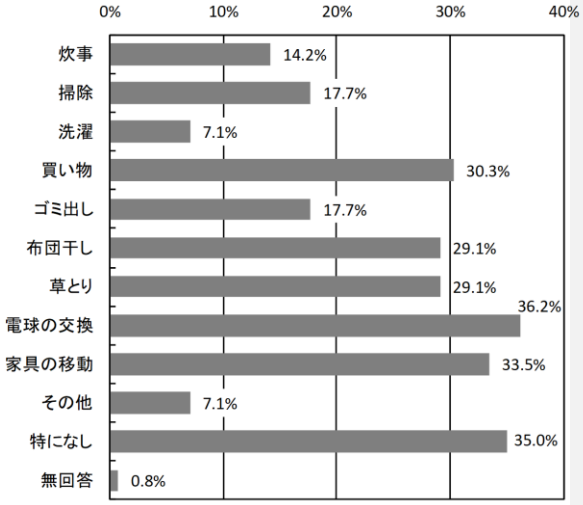
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「電球の交換」が 36.2%で最も高く、次いで「特になし」35.0%、「家具の移動」33.5%、「買い物」30.3%となっている。

(N=254)

	回答数	割合
炊事	36	14.2%
掃除	45	17.7%
洗濯	18	7.1%
買い物	77	30.3%
ゴミ出し	45	17.7%
布団干し	74	29.1%
草とり	74	29.1%
電球の交換	92	36.2%
家具の移動	85	33.5%
その他	18	7.1%
特になし	89	35.0%
無回答	2	0.8%

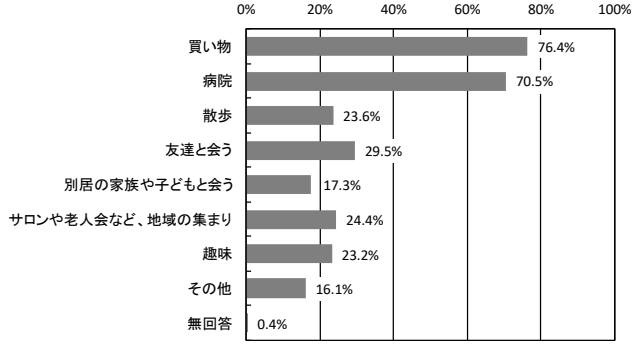


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「買い物」が 76.4%となっており最も高く、次いで「病院」70.5%、「友達と会う」29.5%、「サロンや老人会など、地域の集まり」24.4%となっている。

(N=254)

	回答数	割合
買い物	194	76.4%
病院	179	70.5%
散歩	60	23.6%
友達と会う	75	29.5%
別居の家族や子どもと会う	44	17.3%
サロンや老人会など、地域の集まり	62	24.4%
趣味	59	23.2%
その他	41	16.1%
無回答	1	0.4%

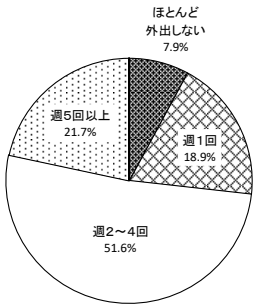


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 51.6%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 21.7%と高く、「週 1 回」は 18.9%、「ほとんど外出しない」は 7.9%となっている。

（N=254）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	20	7.9%
週1回	48	18.9%
週2～4回	131	51.6%
週5回以上	55	21.7%



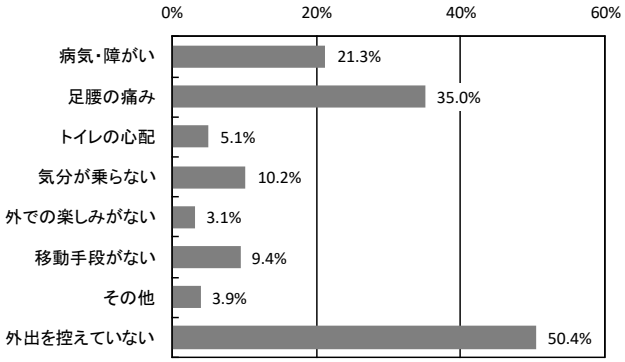
外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由では、「足腰の痛み」35.0%が高い割合となっている。ついで、「病気・障がい」は 21.3%、「気分が乗らない」は 10.2%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 50.4%となっている。

（N=254）

	回答数	割合
病気・障がい	54	21.3%
足腰の痛み	89	35.0%
トイレの心配	13	5.1%
気分が乗らない	26	10.2%
外での楽しみがない	8	3.1%
移動手段がない	24	9.4%
その他	10	3.9%
外出を控えていない	128	50.4%



コメントの追加 [u1]:「無回答」以外の結果を順位の高い順に述べる

コメントの追加 [u2]:「外出を控えていない」「その他」「無回答」以外で順位の高かったものを順に3つ述べる

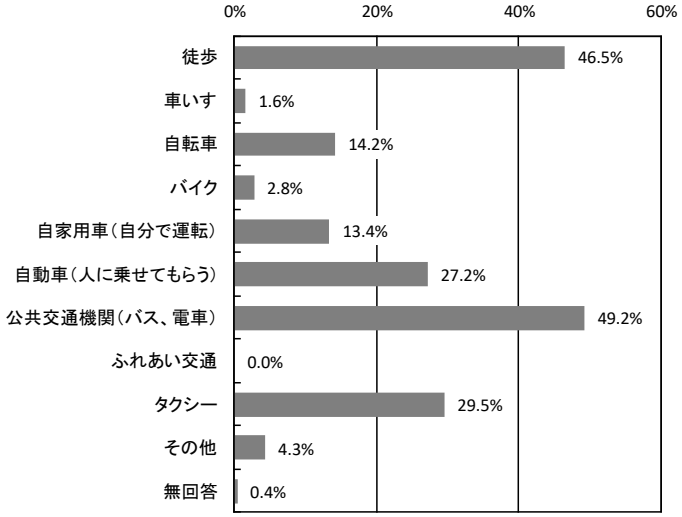
主な外出の手段(問 14)

主な外出の手段については、「公共交通機関（バス、電車)」が 49.2%で最も高く、次いで、「徒歩」46.5%、「タクシー」29.5%、「自家用車（人に乗せてもらう)」27.2%の順となっている。

コメントの追加 [u3]:「無回答」以外で順位の高かったものを順に4つ述べる

（N=254）

	回答数	割合
徒歩	118	46.5%
車いす	4	1.6%
自転車	36	14.2%
バイク	7	2.8%
自家用車(自分で運転)	34	13.4%
自動車(人に乗せてもらう)	69	27.2%
公共交通機関(バス、電車)	125	49.2%
ふれあい交通	0	0.0%
タクシー	75	29.5%
その他	11	4.3%
無回答	1	0.4%

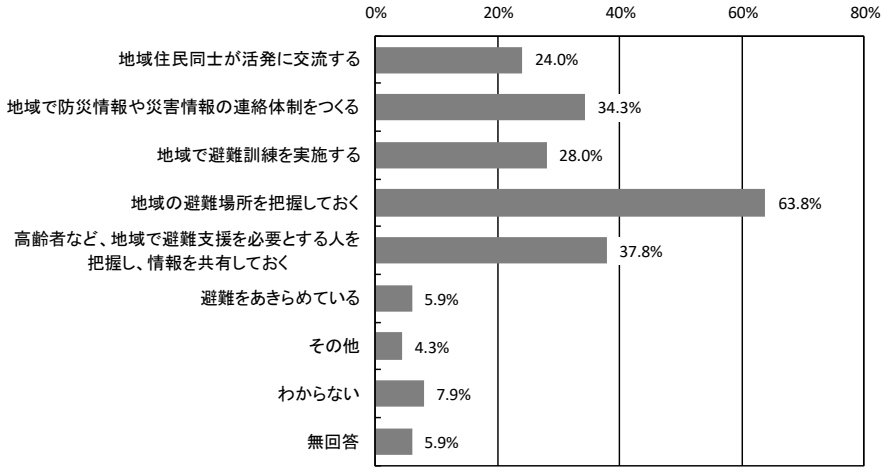


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 63.8%で最も高く、次いで「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」37.8%、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」34.3%、「地域で避難訓練を実施する」28.0%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 5.9%、「わからない」は 7.9%となっている。



第4章　荏隈校区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

荏隈校区社協の目標１

地域のつながりを深めよう！

荏隈校区には６の自治区があり、様々な団体が地域を支えています。昨今、地域での福祉課題が増えている反面、近隣住民同士の関係は希薄になりつつあります。しかし、人と人とのつながりは生活していく上でなくてはならないものです。そこで、荏隈にあるさまざまな活動団体のつながりを通じて、地域福祉を推進するために以下のことに取り組んでいきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 地域の活動者同士のつながりを深める（広報を工夫する）
- 子育てサロンの運営を校区社協で支援する

策定までのプロセス

《「話し合い」の場で出た意見》

～現状・課題～

・地域関係の希薄の問題は一番だと思うが、少しずつでも補完できればと考えている。
・若い人との繋がりが希薄。スマートフォンで何でも調べられるので、回覧板なども見ていない人も多いのではないか。
・他自治区のイベントや行事に、他自治会住民が参加して良いかどうか分からず参加しづらい。
・サロンに来てほしい人がこないので、いかにしたら参加してもらえるのかが課題。
・高齢者の方も子どもと関わりたい気持ちがすごくあるが、今まではその場がなかった。

～提案・対応策～

・参加すると楽しいことも、参加するまでが難しいので広報の工夫が必要。
・スマートフォンのライングループを使って、サロンなどの情報を告知してはどうか。まずは興味を持ってもらわないといけないが、全員に口コミをするのは難しい。データだと気軽に見られて広報もしやすい。
・情報紙は、字面だけでなく、漫画などもつけるなど工夫が必要だと思う。
・高齢者サロンと子育てサロンの交流は、会の始まりから終わりまで見学するのではなく、ちょっと覗いてみる感じでもいいのではないか。高齢者と子育て世代の交流の場を設けていくという意味から。
・得意分野を持っている人が地域の中にいるので、そういう人にサロン等のプログラムの講師を頼むのがよいのではないか。
・荏隈校区にあるサロン同士で見学に行ったり、行事に参加するのも、お互いのサロンや地域の課題を知るいい機会なのではないか。
・地域の集まりに来てくださいと言うだけより、合同で一緒に活動しましょうと誘って、来ていただいた方には役割をお願いすると参加しやすいと思う。

荏隈校区社協の目標２

日常の困りごとへの対策を考えよう！

実態調査から、電球の交換や買物など、日常の困りごとを抱える方が一定数いることがわかりました。また、介護保険サービスの利用を機に、専門職の方がついている人は見守りの対象からはずれるケースがあり、今後もそういった課題が増えていくことが予想されます。

そこで、生活上の軽微な支援をどういった形で行うことができるのか検討していきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 日常の困りごとの把握・共有を行う
- どのような支援ができるか検討を行う

策定までのプロセス

《「話し合い」の場で出た意見》

～現状・課題～

・日常生活を送る上での色んな困りごとを抱えている人が多いことは予想していたが、調査結果をみて改めてそれを感じた。
・ゴミ出しに困っている対象者の方がいる。
・地域で、誰が支援すべきなのか不明確な、小さな困りごとを抱えている方がいる。
・介護保険サービスの利用を機に、専門職の方がついている人には、見守りの対象からはずれるケースがある。
・支援するとなった時に誰が行うのかが問題だと思う。
・地域のつながりが希薄な中で、日常の困りごとについて支援を頼むのは大変。
・困りごとを抱える人の気持ちをどのようにつかんでいけばよいのだろうか。
・困りごとを抱える方がお金を出してまで手伝ってほしいと思っているのだろうか。

～提案・対応策～

・荏隈校区内での広報、周知が必要。
・以前荏隈町内で、理髪店の方が、包丁を研ぐボランティアをしていたことがあった。
このように、得意なことを持っている方と、困っていて支援が必要な方を繋げる仕組みがあるとよいのではないか。
・新たに制度化するのは難しいので既に今あるものを推進するのがよいのではないか。
・市が行っているファミリーサポート事業のほうにつなぐという形で行うのはどうか。
・以前、テレビで、小学生が友達と登校する際に、一人暮らし高齢者のゴミ出しを手伝っているという内容を見た。サポーターと肩肘はらずとも、できる困りごと支援があるのだと思った。

荏隈校区社協の目標３

災害時の支援を考えよう！

いつ発生するか分からない災害については、平時での備えが必要です。現状でもすでに、荏隈校区では、災害時においての話し合いを進めていますが、災害が起こった際に、地域の方がより避難しやすくできるように以下の取り組みを行います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 住民の方に自助を心がけてもらえるよう働きかけを行う
- 緊急時に支援が必要な方を把握・周知する
- 地域内で災害時においての必要な知識の周知を行う

策定までのプロセス

《「話し合い」の場で出た意見》

～現状・課題～

・低い避難所はあるが、津波のときなど避難できる場がない。
・町内でどういう方に支援を求めるかまで決めていかないと、民生委員だけで対応するのは大変。近隣の人に、ここにはこういう方がいるんだということを知ってもらうことが必要。隣の家の人が家が倒壊して下敷きになっている時など、知らないとどうにもならない。
・以前の災害時に、指定避難所である城南中学に避難した人で、避難所が一杯で入りきれずに車中泊した人がいた。そういう人は精神的に不安になったと思う。

～提案・対応策～

・普段見守られているから、助けてくれるだろうと思うのが一番危ない。助ける側の人も家庭を守ったりで精一杯。自分の身は自分で守りましょうと自助を意識してもらうことが大切。
・災害の種類によって、逃げ方や逃げる場所も変わるので、各自がそれぞれ考えて行動しないといけない。
・交流の場を通じてつながりを持った方についても、災害時に支援を行えるように準備を行いたい。
・校区社協にできるのは自分の安全を確保してから、対象者さんの安全確認をするような二次支援だと思う。
・緊急時に支援が必要な方の把握・共有というのは、民生委員が要支援者を名簿化して地図を作っており、それを自治会長と共有している。そのことを住民の方にも理解してもらうことが必要だ。また、災害時にこの名簿をどう生かしていくかが重要だ。
・民生委員と自治委員の持っている情報をどのように活用するかというのが問題。いざとなってから教えてほしいとなっても遅い。どういう風にそういう情報を共有するか。
・各町内に防災士さんがいるので、防災についての考え方をきくべきだと思う。

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	荏隈校区社会福祉協議会	会長	篠田　米蔵
2	荏隈校区社会福祉協議会	副会長（自治協会長・大石町）	望月　正道
3	荏隈校区社会福祉協議会	副会長 （民児協会長・荏隈町 3～4 丁目）	柏　　敏宏
4	荏隈校区社会福祉協議会	事務局長	和田　真樹
5	荏隈校区民生委員児童委員協議会	事務局次長 （民生委員・大石町 5 丁目 3 組-1～9 組）	高栁　澄代
6	荏隈校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	安藤　英昭
7	荏隈校区老人クラブ連合会	会長	中村　隆一
8	荏隈校区民生児童委員協議会	主任児童委員	藤田　佳代
9	荏隈校区民生児童委員協議会	主任児童委員	岩﨑　園美
10	荏隈校区ボランティア会	会長	舩戸　明美
11	荏隈校区青少年健全育成連絡協議会	会長	森山　岩雄
12	荏隈校区青少年健全育成連絡協議会	事務局長	牧　　裕二
13	交通安全協会荏隈分会	会長	渡部　廣善

開催日	内容
平成 30 年 5月２６日（土）10:30～	荏隈校区社会福祉協議会総会
6月1日（金）～6月３０日（土）	調査対象者整備活動
7月１４日（土）13：30	実態調査活動説明会
7月１５日（日）～ １１月１５日（木）	調査実施期間
平成 31 年 1月１６日（水）18：00～	事務局会議
2月１６日（土）10：00～	実態調査結果報告（荏隈校区民児協定例会）
令和元年 5月２５日（土）16：00～	第 1 回話し合い（実態調査報告等）
6月１８日（火）14：00～	事務局会議
6月２２日（土）13：00～	第 2 回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
7月１１日（木）14：00～	事務局会議
7月２０日（土）14：00～	活動目標の策定（計画目標案の策定）

(3)実施経過

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。今後とも、荏隈校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

第5章　資料編

(1)他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送 / 無償運送(もやい号) / 合計 収入：2,002千円 / 278千円 / 2,280千円 支出：3,600千円 / 799千円 / 4,399千円 差引：−1,598千円 / −521千円 / −4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

（2）実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

コメントの追加 [u4]:【意見】
“草刈り”より“草とり”に苦労している人が多い

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

コメントの追加 [u5]: ・“ご近所などの”を文言として消して、縮めてはどうか
・①借りたい②借りたくない③今はわからないの3つでどうか

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

コメントの追加 [u6]:【意見】
・問 13 と問 14 をまとめることはできないか
⇒“実態”と“意識”を分けて聞きたい
・単回答だったが、複数選択している人が多かったため、無回答扱いになった人が多かった。
⇒聞き方を見直し。（“一番親しい”を追加）

コメントの追加 [u7]: 実態調査の対象者がほぼ高齢者なので、結果的にも高齢者関係の選択率が高くなった。
選択肢の見直しをしてもいいかも。

コメントの追加 [u8]:【意見】
・女性のことは聞かないのか
⇒男性のほうが人と関わらない･･･という視点の選択肢も必要では

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

調査へご協力いただき、ありがとうございました。

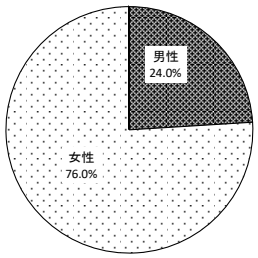
コメントの追加 [u9]:【意見】
・ふれあい対象者（気になる人）が、いろんな行事に来ないのが気になる･･･。いつも外に出ない人が、どのように考えているのかが知りたい。
・狭義で“ふれあい活動”ではなく、地域の活動（校区社協の取り組み、サロン等･･･“参加すること”）についてどのように考えているのかを聞きたい。
⇒地域の活動に協力してみたいと思いますか？みたいな聞き方に変えてもいいかも

（3）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=254）

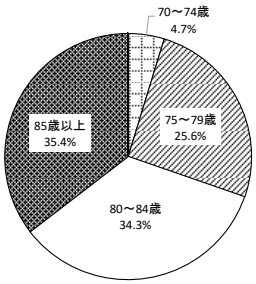
	回答数	割合
男性	61	24.0%
女性	193	76.0%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=254）

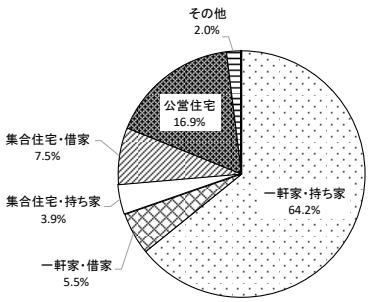
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	12	4.7%
75～79歳	65	25.6%
80～84歳	87	34.3%
85歳以上	90	35.4%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=254）

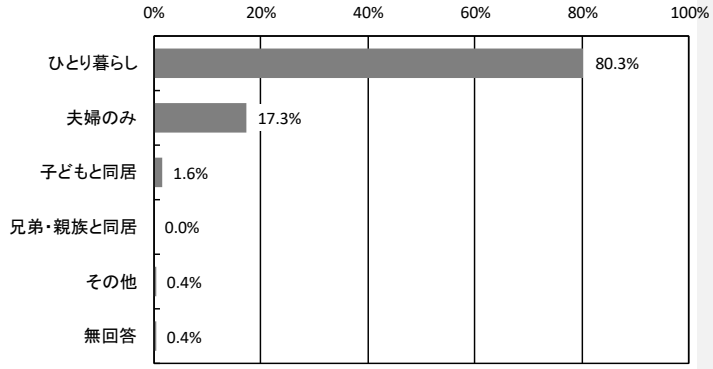
	回答数	割合
一軒家・持ち家	163	64.2%
一軒家・借家	14	5.5%
集合住宅・持ち家	10	3.9%
集合住宅・借家	19	7.5%
公営住宅	43	16.9%
その他	5	2.0%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=254）

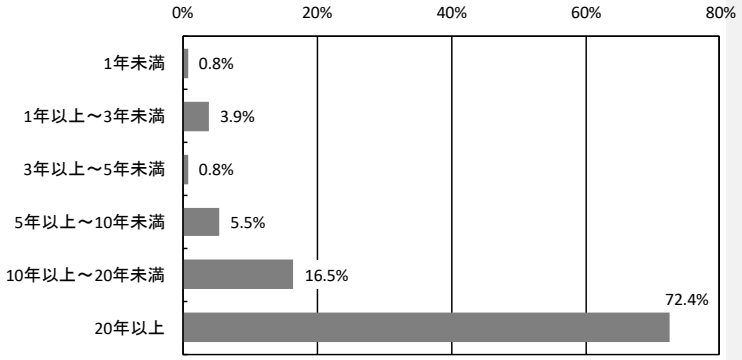
	回答数	割合
ひとり暮らし	204	80.3%
夫婦のみ	44	17.3%
子どもと同居	4	1.6%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	1	0.4%
無回答	1	0.4%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=254）

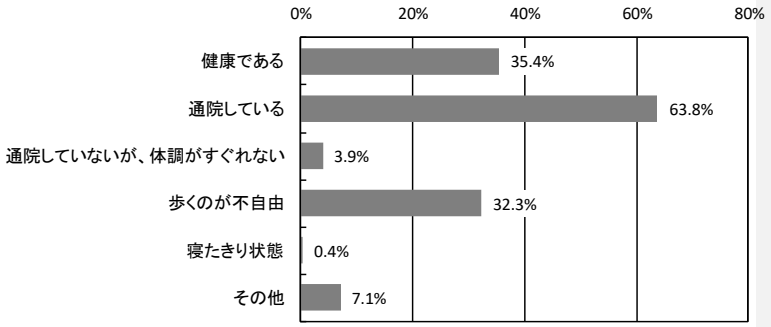
	回答数	割合
1年未満	2	0.8%
1年以上～3年未満	10	3.9%
3年以上～5年未満	2	0.8%
5年以上～10年未満	14	5.5%
10年以上～20年未満	42	16.5%
20年以上	184	72.4%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
健康である	90	35.4%
通院している	162	63.8%
通院していないが、体調がすぐれない	10	3.9%
歩くのが不自由	82	32.3%
寝たきり状態	1	0.4%
その他	18	7.1%



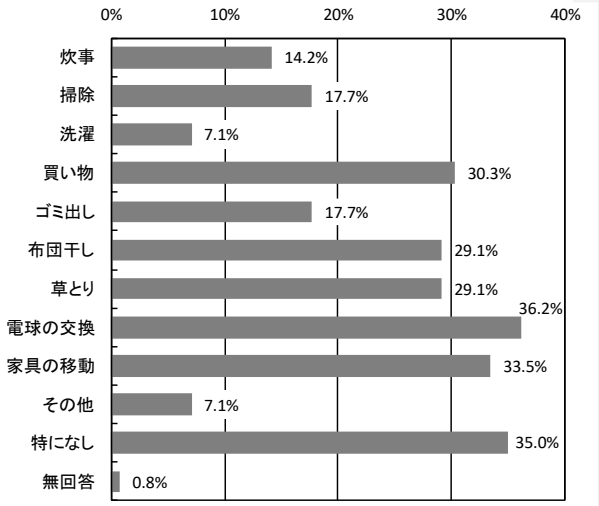
※複数回答
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他
全　体		254	35.4	63.8	3.9	32.3	0.4	7.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	50.0	58.3	－	16.7	－	－
	75～79歳	65	43.1	61.5	1.5	18.5	－	6.2
	80～84歳	87	34.5	64.4	4.6	34.5	1.1	6.9
	85歳以上	90	28.9	65.6	5.6	42.2	－	8.9

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
炊事	36	14.2%
掃除	45	17.7%
洗濯	18	7.1%
買い物	77	30.3%
ゴミ出し	45	17.7%
布団干し	74	29.1%
草とり	74	29.1%
電球の交換	92	36.2%
家具の移動	85	33.5%
その他	18	7.1%
特になし	89	35.0%
無回答	2	0.8%



※複数回答

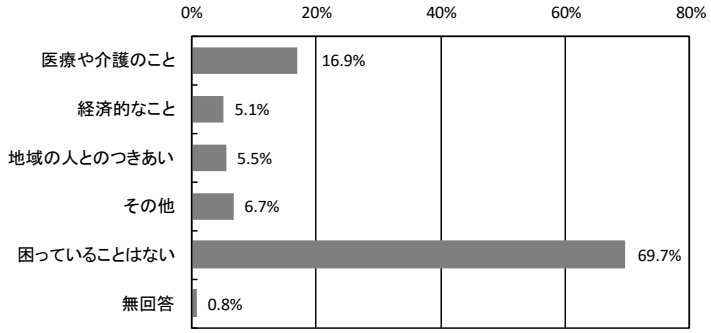
（%）

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		254	14.2	17.7	7.1	30.3	17.7	29.1	29.1	36.2	33.5	7.1	35.0	0.8
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	16.7	16.7	8.3	33.3	16.7	8.3	16.7	33.3	16.7	8.3	58.3	－
	75～79歳	65	9.2	9.2	4.6	16.9	10.8	23.1	23.1	26.2	24.6	9.2	43.1	3.1
	80～84歳	87	16.1	20.7	9.2	32.2	19.5	32.2	24.1	37.9	37.9	1.1	33.3	－
	85歳以上	90	15.6	21.1	6.7	37.8	21.1	33.3	40.0	42.2	37.8	11.1	27.8	－

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
医療や介護のこと	43	16.9%
経済的なこと	13	5.1%
地域の人とのつきあい	14	5.5%
その他	17	6.7%
困っていることはない	177	69.7%
無回答	2	0.8%



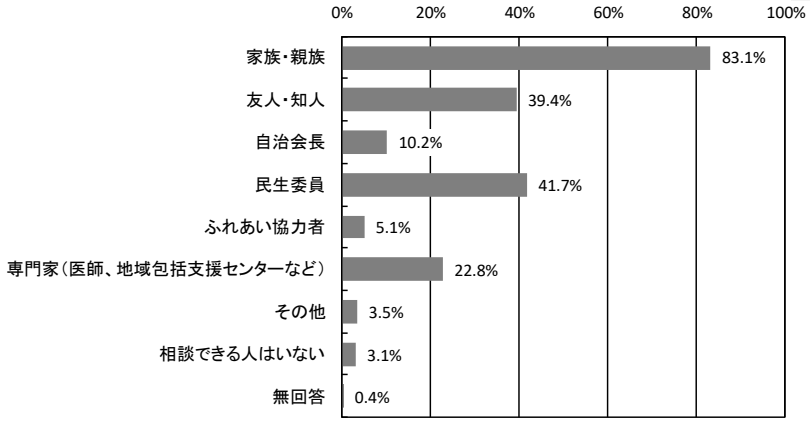
※複数回答
（%）

		サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない	無回答
全　体		254	16.9	5.1	5.5	6.7	69.7	0.8
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	8.3	16.7	8.3	8.3	58.3	－
	75～79歳	65	12.3	12.3	6.2	4.6	66.2	3.1
	80～84歳	87	20.7	1.1	4.6	5.7	72.4	－
	85歳以上	90	17.8	2.2	5.6	8.9	71.1	－

問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
家族・親族	211	83.1%
友人・知人	100	39.4%
自治会長	26	10.2%
民生委員	106	41.7%
ふれあい協力者	13	5.1%
専門家（医師、地域包括支援センターなど）	58	22.8%
その他	9	3.5%
相談できる人はいない	8	3.1%
無回答	1	0.4%



※複数回答

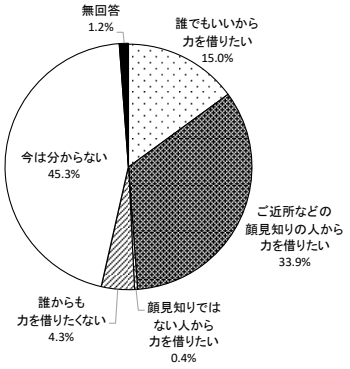
（%）

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない	無回答
	全　体	254	83.1	39.4	10.2	41.7	5.1	22.8	3.5	3.1	0.4
性別	男性	61	78.7	31.1	14.8	45.9	1.6	27.9	3.3	8.2	—
	女性	193	84.5	42.0	8.8	40.4	6.2	21.2	3.6	1.6	0.5
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	12	66.7	50.0	8.3	33.3	—	16.7	8.3	8.3	—
	75～79歳	65	70.8	47.7	12.3	41.5	3.1	10.8	4.6	6.2	—
	80～84歳	87	90.8	39.1	3.4	39.1	3.4	27.6	—	2.3	—
	85歳以上	90	86.7	32.2	15.6	45.6	8.9	27.8	5.6	1.1	1.1

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=254）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	38	15.0%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	86	33.9%
顔見知りではない人から力を借りたい	1	0.4%
誰からも力を借りたくない	11	4.3%
今は分からない	115	45.3%
無回答	3	1.2%



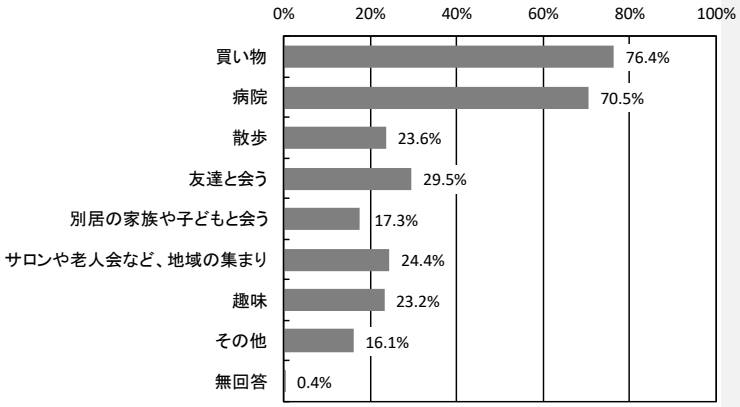
（%）

		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		254	15.0	33.9	0.4	4.3	45.3	1.2
性別	男性	61	13.1	31.1	－	6.6	49.2	－
	女性	193	15.5	34.7	0.5	3.6	44.0	1.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	33.3	16.7	－	－	50.0	－
	75～79歳	65	6.2	26.2	1.5	1.5	64.6	－
	80～84歳	87	14.9	36.8	－	8.0	40.2	－
	85歳以上	90	18.9	38.9	－	3.3	35.6	3.3

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
買い物	194	76.4%
病院	179	70.5%
散歩	60	23.6%
友達と会う	75	29.5%
別居の家族や子どもと会う	44	17.3%
サロンや老人会など、地域の集まり	62	24.4%
趣味	59	23.2%
その他	41	16.1%
無回答	1	0.4%



※複数回答

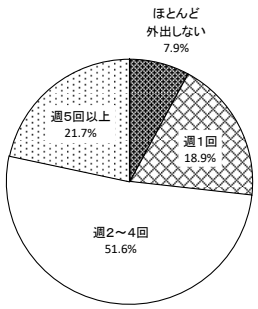
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全　体		254	76.4	70.5	23.6	29.5	17.3	24.4	23.2	16.1	0.4
性別	男性	61	77.0	68.9	36.1	13.1	13.1	14.8	26.2	18.0	—
	女性	193	76.2	71.0	19.7	34.7	18.7	27.5	22.3	15.5	0.5
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	12	83.3	66.7	25.0	25.0	41.7	16.7	25.0	16.7	—
	75～79歳	65	83.1	60.0	29.2	35.4	15.4	18.5	27.7	18.5	—
	80～84歳	87	78.2	67.8	21.8	23.0	17.2	18.4	19.5	11.5	1.1
	85歳以上	90	68.9	81.1	21.1	32.2	15.6	35.6	23.3	18.9	—

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=254）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	20	7.9%
週1回	48	18.9%
週2～4回	131	51.6%
週5回以上	55	21.7%



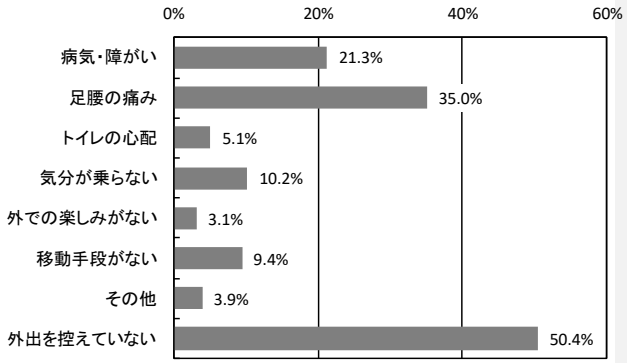
（%）

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上
全　体		254	7.9	18.9	51.6	21.7
性別	男性	61	3.3	18.0	47.5	31.1
	女性	193	9.3	19.2	52.8	18.7
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－
	70～74歳	12	－	16.7	50.0	33.3
	75～79歳	65	6.2	15.4	46.2	32.3
	80～84歳	87	9.2	20.7	49.4	20.7
	85歳以上	90	8.9	20.0	57.8	13.3

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
病気・障がい	54	21.3%
足腰の痛み	89	35.0%
トイレの心配	13	5.1%
気分が乗らない	26	10.2%
外での楽しみがない	8	3.1%
移動手段がない	24	9.4%
その他	10	3.9%
外出を控えていない	128	50.4%



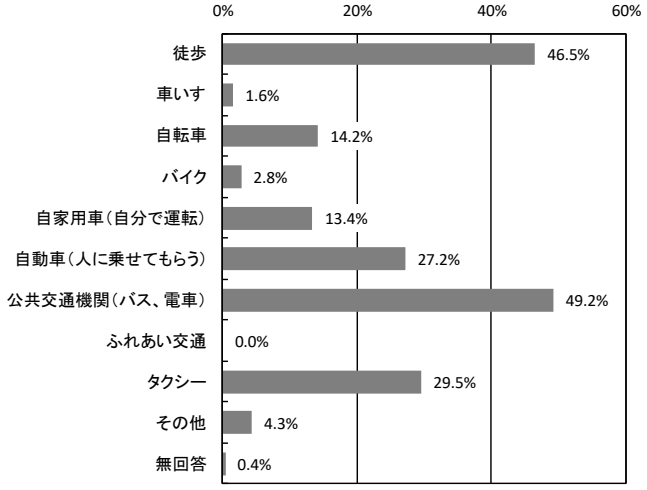
※複数回答
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない
全体		254	21.3	35.0	5.1	10.2	3.1	9.4	3.9	50.4
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	－	8.3	50.0
	75～79歳	65	16.9	21.5	1.5	7.7	4.6	3.1	3.1	63.1
	80～84歳	87	21.8	41.4	4.6	12.6	1.1	12.6	2.3	47.1
	85歳以上	90	23.3	41.1	6.7	8.9	3.3	12.2	5.6	44.4

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
徒歩	118	46.5%
車いす	4	1.6%
自転車	36	14.2%
バイク	7	2.8%
自家用車（自分で運転）	34	13.4%
自動車（人に乗せてもらう）	69	27.2%
公共交通機関（バス、電車）	125	49.2%
ふれあい交通	0	0.0%
タクシー	75	29.5%
その他	11	4.3%
無回答	1	0.4%



※複数回答

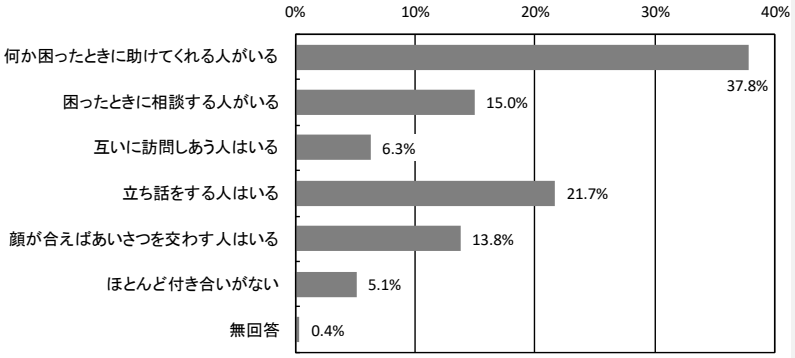
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全体		254	46.5	1.6	14.2	2.8	13.4	27.2	49.2	―	29.5	4.3	0.4
年齢別	50歳未満	0	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	50～59歳	0	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	60～64歳	0	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	65～69歳	0	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	70～74歳	12	50.0	―	8.3	16.7	16.7	25.0	75.0	―	8.3	8.3	―
	75～79歳	65	50.8	1.5	29.2	6.2	23.1	21.5	46.2	―	9.2	―	1.5
	80～84歳	87	49.4	1.1	13.8	1.1	10.3	29.9	50.6	―	29.9	2.3	―
	85歳以上	90	40.0	2.2	4.4	―	8.9	28.9	46.7	―	46.7	8.9	―

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

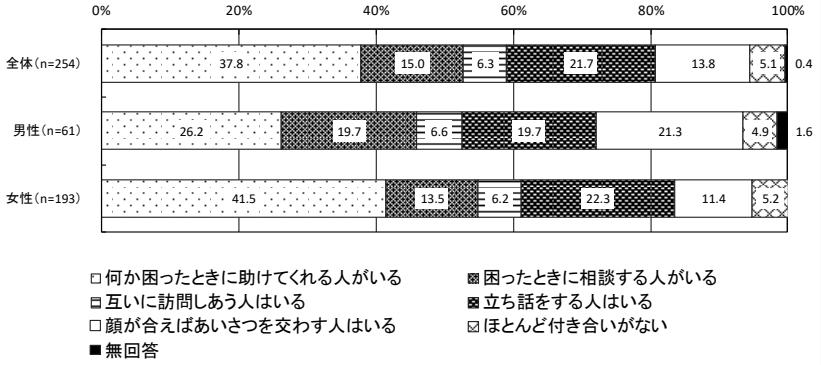
（N=254）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	96	37.8%
困ったときに相談する人がいる	38	15.0%
互いに訪問しあう人はいる	16	6.3%
立ち話をする人はいる	55	21.7%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	35	13.8%
ほとんど付き合いがない	13	5.1%
無回答	1	0.4%



（%）

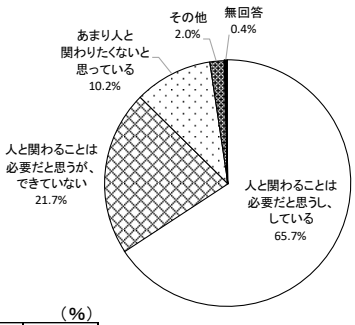
		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		254	37.8	15.0	6.3	21.7	13.8	5.1	0.4
性別	男性	61	26.2	19.7	6.6	19.7	21.3	4.9	1.6
	女性	193	41.5	13.5	6.2	22.3	11.4	5.2	ー



問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

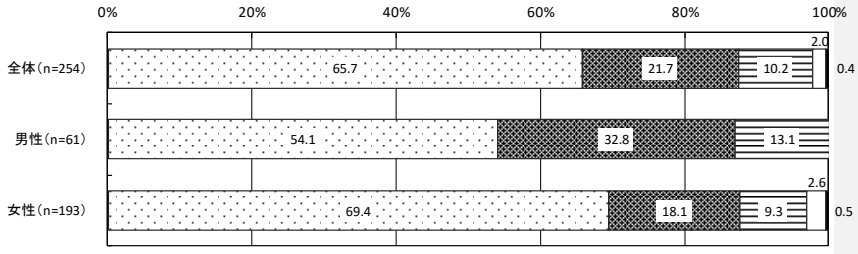
（N=254）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	167	65.7%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	55	21.7%
あまり人と関わりたくないと思っている	26	10.2%
その他	5	2.0%
無回答	1	0.4%



（%）

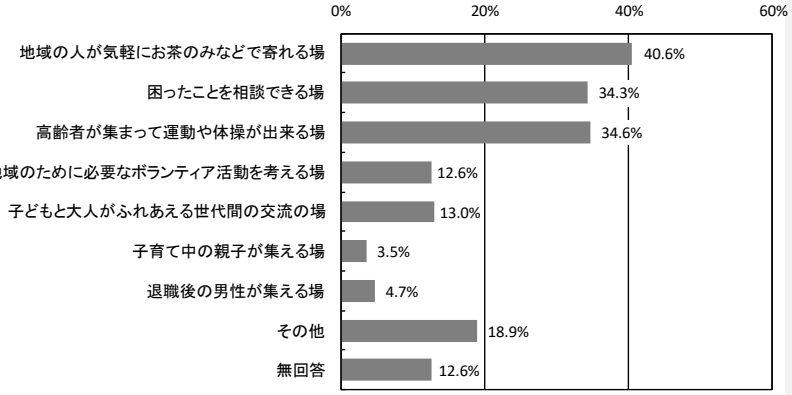
		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		254	65.7	21.7	10.2	2.0	0.4
性別	男性	61	54.1	32.8	13.1	－	－
	女性	193	69.4	18.1	9.3	2.6	0.5



問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	103	40.6%
困ったことを相談できる場	87	34.3%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	88	34.6%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	32	12.6%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	33	13.0%
子育て中の親子が集える場	9	3.5%
退職後の男性が集える場	12	4.7%
その他	48	18.9%
無回答	32	12.6%



※複数回答

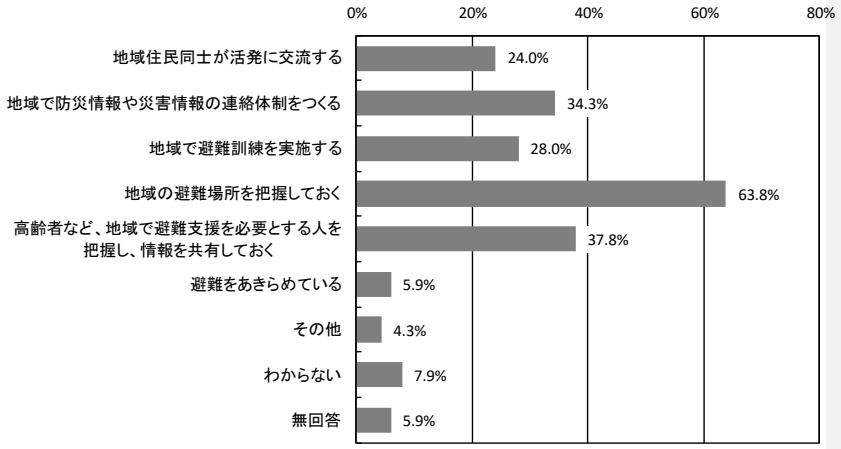
（%）

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全　体		254	40.6	34.3	34.6	12.6	13.0	3.5	4.7	18.9	12.6
性別	男性	61	31.1	44.3	31.1	19.7	19.7	6.6	11.5	19.7	14.8
	女性	193	43.5	31.1	35.8	10.4	10.9	2.6	2.6	18.7	11.9
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	25.0	16.7	58.3	16.7	25.0	8.3	8.3	25.0	8.3
	75～79歳	65	40.0	26.2	36.9	13.8	12.3	4.6	4.6	18.5	12.3
	80～84歳	87	41.4	42.5	29.9	6.9	10.3	2.3	5.7	16.1	10.3
	85歳以上	90	42.2	34.4	34.4	16.7	14.4	3.3	3.3	21.1	15.6

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	61	24.0%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	87	34.3%
地域で避難訓練を実施する	71	28.0%
地域の避難場所を把握しておく	162	63.8%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	96	37.8%
避難をあきらめている	15	5.9%
その他	11	4.3%
わからない	20	7.9%
無回答	15	5.9%



※複数回答

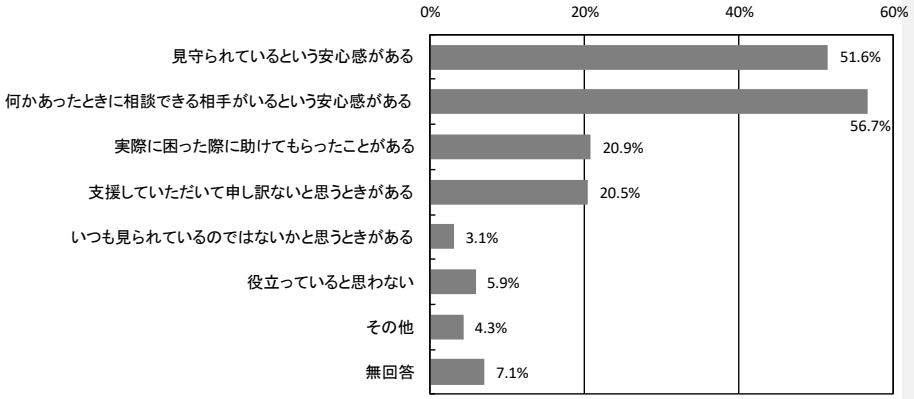
（%）

		サンプル数	地域住民同士が活発に交流する	地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	地域で避難訓練を実施する	地域の避難場所を把握しておく	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	避難をあきらめている	その他	わからない	無回答
全　体		254	24.0	34.3	28.0	63.8	37.8	5.9	4.3	7.9	5.9
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	33.3	25.0	41.7	75.0	33.3	－	－	16.7	－
	75～79歳	65	18.5	35.4	24.6	63.1	36.9	6.2	4.6	10.8	4.6
	80～84歳	87	19.5	33.3	24.1	66.7	36.8	6.9	3.4	10.3	4.6
	85歳以上	90	31.1	35.6	32.2	60.0	40.0	5.6	5.6	2.2	8.9

問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=254）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	131	51.6%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	144	56.7%
実際に困った際に助けてもらったことがある	53	20.9%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	52	20.5%
いつも見られているのではないかと思うときがある	8	3.1%
役立っていると思わない	15	5.9%
その他	11	4.3%
無回答	18	7.1%



※複数回答

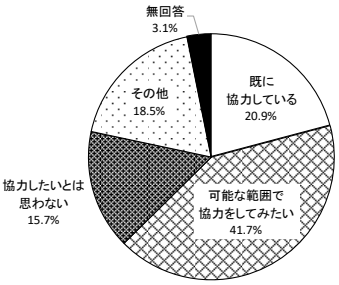
（%）

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		254	51.6	56.7	20.9	20.5	3.1	5.9	4.3	7.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	58.3	41.7	8.3	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7
	75～79歳	65	53.8	50.8	18.5	18.5	1.5	9.2	3.1	7.7
	80～84歳	87	40.2	56.3	18.4	18.4	5.7	3.4	2.3	6.9
	85歳以上	90	60.0	63.3	26.7	23.3	1.1	5.6	6.7	5.6

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=254）

	回答数	割合
既に協力している	53	20.9%
可能な範囲で協力をしてみたい	106	41.7%
協力したいとは思わない	40	15.7%
その他	47	18.5%
無回答	8	3.1%



（%）

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力をしてみたい	協力したいとは思わない	その他	無回答
全　体		254	20.9	41.7	15.7	18.5	3.1
性別	男性	61	16.4	54.1	11.5	13.1	4.9
	女性	193	22.3	37.8	17.1	20.2	2.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－
	70～74歳	12	25.0	41.7	－	33.3	－
	75～79歳	65	15.4	53.8	10.8	16.9	3.1
	80～84歳	87	23.0	37.9	19.5	18.4	1.1
	85歳以上	90	22.2	36.7	17.8	17.8	5.6

一口メモ

荏隈一帯は、かつて「荏胡麻（えごま）」の育つ肥沃な土地であった。地名の「荏隈」は、平安期の「荏隈郷（えのくまのごう）」に由来すると伝えられている。明治８年～明治２２年の大分郡の村名に「荏隈村」があり、明治２２年から「荏隈」は現在の大字名となった。

※「荏胡麻」はシソ科の１年草、中世から鎌倉時代頃まで搾油用に広く栽培され、地名に「荏」が付く場所の多くは栽培地であったことに由来する。１９９０年代後半以降、その種子から搾油されるエゴマ油が人体に不可欠な必須脂肪酸であるα-リノレン酸を豊富に含むことから注目された。

出典：角川日本地名大辞典　No.44 大分県（昭和 55 年発行）

荏隈校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	令和元年７月
発　　行	荏隈校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８